

大網白里市污水適正処理構想(案)に関するパブリックコメントの結果

パブリックコメント実施期間: 令和4年8月8日(月)から令和4年8月22日(月)まで

回答番号	ご意見(原文のまま記載)	ご意見に対する市の考え方
1	<p>中長期的に人口減少が見込まれる中、市財政を圧迫している下水道事業運営の効率化は可及的速やかに進めるべきで、コスト削減の第一歩として既存の污水处理施設の統廃合を図ることには賛成。</p>	<p>ご意見のとおり、污水处理施設の統廃合に向けて検討を進めてまいります。</p>
2	<p>一方で、現在、農業集落排水やコミュニティプラントの対象となっている各地域(小西・養安寺地区、南横川地区、弥幾野地区)の人口密度は5~20人/haで、一般的に下水道等による集合処理が効率的であると言われる目安の40人/haを大幅に下回っており、そもそも合併浄化槽等による個別処理のほうが効率的であるはず。</p>	<p>農業集落排水は農業振興地域の農業用排水の水質保全、農村環境の改善等を目的として整備され、コミュニティ・プラントは、市街化調整区域であった弥幾野地区の宅地開発が急速に進んだため、地区全体の排水不良の解消を目的に整備されるなど、公共下水道とは異なる視点から整備された経緯があり、これらの区域についてはすでに整備を完了し、施設の維持管理に努めているところです。</p>
3	<p>中長期的には、処理場だけでなく、管路の保守・更新費用も嵩むことが見込まれることから、更なるコスト削減のために、人口密度の低いエリアでは集合処理から個別処理への移行を図るなど、より踏み込んだ構想とすべき。</p>	<p>農業集落排水区域及びコミュニティ・プラント区域は整備を完了しているため、今後も接続率の向上に努めるとともに、これら区域の施設について、経済性・効率性の面から公共下水道を含めた污水处理施設の統廃合について検討を進めてまいります。 なお、市街化調整区域(農業集落排水区域及びコミュニティ・プラント区域を除く)は、合併処理浄化槽により整備を行なうこととしています。</p>
4	<p>同様の理由で、公共下水道の未整備区域は、下水道整備を即中止し、合併浄化槽等による個別処理を推進すべき。</p>	<p>公共下水道の未整備区域の取扱いについては、平成27年度の構想において市街化調整区域を外し整備対象区域の縮小を図るとともに、令和4年度からは市街化区域内であっても事業計画区域外については、補助金を利用した合併処理浄化槽の設置が可能となるよう変更を行ったところです。これらについては本構想でも踏襲するとともに、ご意見を参考に検討を進めてまいります。</p>